



平成 17 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 11 月 21 日

上場会社名 日本精蠟株式会社

(コード番号：5010 東証 2 部)

(URL <http://www.seiro.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡口 勝彦

問合せ先責任者 役職名 取締役 氏名 井上 寛 TEL(03)3523-3530

1. 四半期財務情報の作成に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 有

当会計期間より従来、「売上高」及び「売上原価」に計上しておりました取引先に対する仕入重油の交換取引、原料の委託精製に伴い発生する副産物の売却取引及び有償支給品代を「売上高」及び「売上原価」より除くことに変更しました。

この変更により、「売上高」が 5,141 百万円及び「売上原価」が 5,118 百万円それぞれ減少しております。

「営業利益」、「経常利益」及び「四半期純利益」に与える影響は軽微であります。この変更は、従来、所有権の移転という取引形態に着目し、「売上高」及び「売上原価」に計上しておりましたが、当該取引の経済的実態に照らして行ったものであります。

2. 平成 17 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

(1) 経営成績進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 17 年 12 月期第 3 四半期	21,511	3.4	1,962	-	1,754	-	1,739	-
平成 16 年 12 月期第 3 四半期	20,804	-	-	-	-	-	-	-
(参考)平成 16 年 12 月期	29,058		1,816		1,510		1,362	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成 17 年 12 月期第 3 四半期	77	69	-	-
平成 16 年 12 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)平成 16 年 12 月期	60	83	-	-

(注) 1. 売上高以外の項目につきましては、当期より四半期財務・業績の開示を行っているため、営業利益、経常利益、四半期純利益及び 1 株当たり四半期純利益については、前四半期実績及び増減率は記載していません。

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期(平成 17 年 1 月～9 月)において、わが国経済は回復基調が鮮明となる中、原油価格は一貫して上昇し 8 月末の米国メキシコ湾岸への大型ハリケーン襲来後の WTI 原油価格は一時 70.85 ドル/バーレルの史上最高値をつけました。また、為替相場は年初の 102 円/ドルの水準から徐々に円安方向へ推移し当第 3 四半期末には 113 円/ドルとなりました。

このような状況下、引続き中期経営計画の早期達成に向けて具体的経営課題の必達に注力するとともに、製品販売の採算性改善に取り組みました。ワックス販売は内外の需給環境が堅調な中で値上げを実施いたしましたが、大幅な原油調達コスト上昇分を十分に転嫁できませんでした。一方、重油販売は上期に引続き市況が堅調に推移したこと

により採算維持に寄与しました。その結果、在庫評価の利益押し上げ効果も加わり、期中の業績は好調に推移いたしました。

これにより、当第3四半期(平成17年1月～9月)の実績は、売上高では21,511百万円、経常利益では1,754百万円、四半期純利益では1,739百万円となり、喫緊の課題であった繰越損失(前期末繰越損失1,395百万円)の解消を果たすことができました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成17年12月期第3四半期	29,662	7,076	23.9	316 03
平成16年12月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)平成16年12月期	25,619	5,277	20.6	235 64

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成17年12月期第3四半期	858	380	1,303	3,901
平成16年12月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年12月期	83	279	1,454	2,119

[財政状態の変動状況に関する定性的情報]

当第3四半期における総資産は、29,662百万円、負債合計は22,585百万円、資本合計は7,076百万円となりました。

当第3四半期における、現金及び預金同等物は、前期に比較して1,781百万円増加し、当第3四半期の残高は3,901百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、858百万円となりました。これは主として、税引前当第3四半期純利益1,747百万円、原料価格の上昇によるたな卸資産の増加額1,598百万円、仕入債務の増加472百万円、減価償却費401百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、380百万円となりました。これは主として、徳山工場の設備投資380百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,303百万円となりました。これは主として長期借入金の純減額654百万円、輸入原料単価の上昇に伴う輸入原料代決済資金の増加等による短期借入金の純増額1,958百万円等によるものであります。

3. 平成 17 年 12 月期の業績予想 (平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回修正予想 (A)	31,370	2,260	2,090
前回発表予想 (B)	29,930	1,880	1,840
増減額 (A - B)	1,440	380	250
増減率 (%)	4.8	20.2	13.6

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 93 円 33 銭

[業績予想に関する定性的情報]

第 4 四半期に入り、原油価格はやや落ち着きを取り戻していますが、更なる円安進行の影響により原料油調達コストは引続き高水準で推移しています。これに対応するため、引続き国内外市場においてワックス製品の値上げに目下鋭意取り組み中のところであります。一方、重油市況は冬場の需要期を控え引続き堅調に推移することが想定されます。

通期の業績予想につきましては、前回公表(平成 17 年 8 月 22 日)の業績予想数値と比較して、売上高では 1,440 百万円増の 31,370 百万円、経常利益では 380 百万円増の 2,260 百万円、当期純利益では 250 百万円増の 2,090 百万円を見込んでおります。これにより、予想数値どおりの実績が達成された場合は株主の皆様への利益還元を最優先事項として対応してゆく所存であります。

ただし、上記の通期業績見通しは現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因により予想値と大きく異なることがあります。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円未満切捨)

科 目	期 別	当 四 半 期 (平成17年12月期第3四半期末)		(参考) 平成16年12月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)					
. 流 動 資 産		14,946,269	50.4	11,281,932	44.0
現金及び預金		4,078,340		2,296,624	
受取手形		315,299		407,373	
売掛金		3,889,016		3,696,313	
たな卸資産		6,068,135		4,469,217	
その他の 貸倒引当金		598,955 3,478		415,885 3,482	
. 固 定 資 産		14,716,149	49.6	14,337,794	56.0
有形固定資産		13,780,159		13,472,251	
無形固定資産		21,804		26,265	
投資その他の資産		914,184		839,276	
資 産 合 計		29,662,418	100.0	25,619,726	100.0
(負債の部)					
. 流 動 負 債		14,179,379	47.8	11,552,622	45.1
支払手形		951,726		348,081	
買掛金		1,539,658		1,383,314	
短期借入金		8,571,458		6,612,638	
一年内返済予定長期借入金		2,201,461		2,487,064	
賞与引当金		71,209		29,202	
その他		843,865		692,321	
. 固 定 負 債		8,406,073	28.3	8,789,665	34.3
社債		200,000		200,000	
長期借入金		4,409,950		4,778,494	
再評価に係る繰延税金負債		3,528,813		3,528,813	
退職給付引当金		267,309		282,356	
負 債 合 計		22,585,453	76.1	20,342,288	79.4
(資本の部)					
. 資 本 金		1,120,000	3.8	1,120,000	4.4
. 資 本 剰 余 金		14,118	0.1	14,118	0.1
資本準備金		14,118		14,118	
. 利 益 剰 余 金		660,294	2.2	1,079,567	4.2
利益準備金		208,100		208,100	
任意積立金		107,874		115,722	
四半期(当期)未処分利益又は 四半期(当期)未処理損失()		344,320		1,403,389	
. 土 地 再 評 価 差 額 金		5,197,234	17.5	5,197,234	20.2
. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		87,265	0.3	26,091	0.1
. 自 己 株 式		1,948	0.0	438	0.0
資 本 合 計		7,076,964	23.9	5,277,438	20.6
負 債 ・ 資 本 合 計		29,662,418	100.0	25,619,726	100.0

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	当 四 半 期 (平成17年12月期第3四半期)		(参考) 平成16年12月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比
. 売 上 高	21,511,238	100.0	29,058,213	100.0
. 売 上 原 価	17,810,161	82.8	25,199,210	86.7
売上総利益	3,701,076	17.2	3,859,002	13.3
. 販売費及び一般管理費	1,738,705	8.1	2,042,652	7.0
営業利益	1,962,371	9.1	1,816,350	6.3
. 営業外収益	63,633	0.3	77,762	0.2
. 営業外費用	271,750	1.3	383,451	1.3
經常利益	1,754,253	8.1	1,510,660	5.2
. 特別利益			6,857	0.0
. 特別損失	7,026	0.0	171,339	0.6
税引前四半期(当期)純利益	1,747,227	8.1	1,346,178	4.6
税金費用	7,365	0.0	16,250	0.1
四半期(当期)純利益	1,739,862	8.1	1,362,429	4.7
前期繰越損失	1,395,541		2,824,279	
合併引継ぎ未処分利益			58,460	
四半期(当期)未処分利益又は 四半期(当期)未処理損失()	344,320		1,403,389	

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	期 別	当 四 半 期 (平成17年12月期第3四半期)	(参考) 平成16年12月期
		金 額	金 額
.営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益		1,747,227	1,346,178
売上債権の増加額		100,630	801,365
たな卸資産の増加額		1,598,917	1,025,332
利息の支払額		259,995	362,493
その他の		1,070,880	926,564
営業活動によるキャッシュ・フロー		858,565	83,552
.投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出		380,339	502,144
その他の		325	781,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		380,014	279,207
.財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額		1,958,820	370,017
長期借入金の純減額		654,146	1,083,860
その他の		1,509	329
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,303,164	1,454,207
.現金及び現金同等物の換算差額			954
.現金及び現金同等物の増減額		1,781,715	1,092,400
.現金及び現金同等物の期首残高		2,119,624	3,120,565
.子会社合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額			91,460
.現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		3,901,340	2,119,624